

第3回 塩竈市立病院事業調査審議会

日 時 平成27年12月21日（月）18:30～

場 所 3階 第一会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 題

- (1) 市民アンケートの結果について
- (2) 地域医療構想を踏まえた当院の果たすべき役割
- (3) 一般会計負担の考え方
- (4) 再編・ネットワーク化
- (5) 経営形態の見直し

3. その他

4. 閉 会

<配布資料>

- ・ 第3回塩竈市立病院事業調査審議会資料
- ・ (別冊)「新改革プラン」策定に係る市民意向調査についての調査報告

第3回塩竈市立病院事業調査
審議会会議資料

平成27年12月21日

塩竈市立病院

(2) 地域医療構想を踏まえた当院の
果たすべき役割

地域医療構想を踏まえた当院の果たすべき役割

1. これまでの審議会における議論

(1) 外部環境

①医療需要の予測

二市三町の総人口は今後20年で減少するものの高齢者人口は依然として増加傾向にあり、医療需要の増加が想定される。

【表 二市三町における人口推計】

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
年少人口(人)	23,635	21,420	19,232	17,426	16,236
生産年齢人口(人)	112,797	106,132	100,316	94,617	88,368
高齢者人口(人)	48,217	53,246	55,314	55,969	55,924
後期高齢者人口(再掲)	23,384	26,709	31,173	33,967	34,664
総人口(人)	184,649	180,798	174,862	168,012	160,528
高齢化率(%)	26.1	29.5	31.6	33.3	34.8

※出典 国立社会保障・人口問題研究所(2013年3月推計)

②地域医療構想における2025年度の必要病床数

病床機能報告制度や2025年度の必要病床数を踏まえると、二市三町圏域では急性期は削減が想定されるが、回復期、慢性期などについては不足が見込まれる。

【表 機能区分毎の病床数の現状と2025年度の必要病床数】

		機能区分				合計
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
2014年7月	市立病院		81床	42床	38床	161床
	坂総合病院	6床	305床	46床		357床
	赤石病院		51床		28床	79床
	仙塩総合病院		98床		45床	143床
	利府掖済会病院		50床		50床	100床
	仙塩利府病院		108床			108床
	松島病院		54床		45床	99床
合計 (a)	6床	747床	88床	206床	1,047床	
地域医療構想における2025年度の必要病床数(b)		191.4床	403.8床	493.2床	315.0床	1,403.4床
(b)-(a)		185.4床	△343床	405.2床	109.0床	356.4床

③地域包括ケアシステムの構築に向けた医療環境

地域包括ケアシステムの構築が求められる中、地域における在宅医療の必要性が高まっているが、特に夜間の訪問診療については開業医における対応が難しい状況である。

(2) 内部環境

①病床機能ごとの運営状況

平成27年6月から3階病棟42床を地域包括ケア病棟に転棟しており、一般病棟、療養病棟と合わせて急性期から慢性期まで対応できる環境を有している。

◇地域包括ケア病棟（3階病棟）の運用状況

病棟数：1病棟
 病床数：42床
 看護配置：13：1

【表 地域包括ケア病棟の運用状況】

	6月	7月	8月	9月	平均
延入院患者数(人)	806	939	957	1,072	943.5人/月
1日当たりの患者数(人)	26.9	30.3	30.9	35.7	30.9人/日
病床利用率(%)	64.0	72.1	73.5	85.1	73.7
診療単価(円)	29,172	29,052	29,576	29,324	29,288

◇一般病棟（4階東・4階西病棟）の運用状況

病棟数：2病棟（4階東病棟＋4階西病棟）
 病床数：81床
 看護配置：10：1

【表 一般病棟の運用状況】

	6月	7月	8月	9月	平均
4階東病棟延入院患者数(人)	1,061	1,107	1,134	1,135	1,109.3人/月
4階西病棟延入院患者数(人)	1,048	1,065	1,107	1,023	1,060.8人/月
一般病棟計延入院患者数(人)	2,109	2,172	2,241	2,158	2,170.0人/月
1日当たりの患者数(人)	70.3	70.1	72.3	71.9	71.1人/日
病床利用率(%)	86.8	86.5	89.2	88.8	87.8
診療単価(円)	33,822	35,715	36,781	35,754	35,540

◇療養病棟（5階病棟）の運用状況

病棟数：1病棟

病床数：38床

看護配置：25：1

病床機能：療養病床及びショートステイ

【表 療養病棟の運用状況】

	6月	7月	8月	9月	平均
療養病床延入院患者数(人)	883	762	691	815	3,151
ショートステイ延入院患者数(人)	243	259	299	306	1,107
療養病棟合計延入院患者数(人)	1,126	1,021	990	1,121	4,258
1日当たりの患者数(人)	37.5	32.9	31.9	37.4	34.9
病床利用率(%)	98.8	86.7	84.0	98.3	91.8
診療単価(円)	15,117	14,896	14,643	14,358	14,754

②在宅医療の実施状況

二市三町圏域で唯一、在宅療養支援病院の指定を受けており、訪問診療や訪問看護、訪問リハビリテーションなどの在宅医療を積極的に実施している。

◇訪問診療・訪問看護の実施体制

施設基準：在宅療養支援病院

※看取りを含めて24時間在宅患者に対応可能な体制をとり、緊急時には入院可能な病床を有している病院であること

医師：平成27年10月から常勤医による当番制で対応

スタッフ：看護師5名、事務スタッフ1名

対応エリア：二市三町（塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・松島町、利府町）

訪問診療の対象者数：約80名、往診回数：約120回／月

訪問看護の対象者数：約55名、訪問回数：約210回／月

◇訪問リハビリテーションの実施体制

スタッフ：平成27年度より3名体制（理学療法士等）

対応エリア：二市三町（塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・松島町、利府町）

※大衡町・東松島市等への訪問実績あり

訪問リハビリテーションの対象者数：約60名

2. 当院の果たすべき役割

○急性期病棟の維持と積極的な救急患者の受入継続

安心な地域医療を提供するため、現在の急性期病棟を維持するとともに、引き続き24時間体制で救急患者の積極的な受け入れを行う。

○地域包括ケア病棟の運用による在宅復帰支援

地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を担う、二市三町圏域唯一の地域包括ケア病棟として、高度急性期病院及び介護施設、在宅等からの積極的な患者の受け入れを行い、在宅復帰支援に向けて一層の病棟の充実を図る。

○療養病棟による慢性期医療の提供

今後の国の動向では在宅への受け皿の整備後は削減される方向であるが、地域医療構想の推計では、依然として二市三町における慢性期病床は不足が見込まれることから、現在の療養病棟を維持し、慢性期医療を提供する。

○在宅医療の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けて重要な役割を担うとともに、二市三町における高齢化の進行や、地域医療構想での需要の増加が見込まれることを踏まえ、今後、一層の在宅医療の充実を図る。

(3) 一般会計負担の考え方

一般会計の負担の考え方

1. 収益目標の設定と経営の効率化

(1) 入院収益

【患者数・病床利用率・診療単価を設定するにあたっての考え方】

病棟ごとの医療機能の明確化を踏まえた患者数、病床利用率及び診療単価を設定し、総合的に入院収益の増加を図る。

①一般病棟（81床）

救急医療を積極的に実施するとともに、医療必要度の高い急性期患者一人ひとりに必要なケアを行い、診療単価の増加につなげる。

◇一般病棟の目標設定

	現プラン目標	新プラン目標	増減	(参考) H27年6～9月
病床利用率 (%)	96.5	90.0	△ 6.5	87.8
診療単価 (円)	31,900	36,000	4,100	35,540

②地域包括ケア病棟（42床）

地域包括ケアシステムにおいて重要とされる地域包括ケア病棟は、二市三町における唯一の病棟であるとともに、高齢化の進行等に伴い、今後、需要の増加が見込まれることから、95%という高い病床利用率を目標とし、地域医療における役割を果たすこととする。

◇地域包括ケア病棟の目標設定

	現プラン目標	新プラン目標	増減	(参考) H27年6～9月
病床利用率 (%)	***	95.0	***	73.7
診療単価 (円)	***	29,500	***	29,288

③療養病棟（38床）

今後の国の動向では削減の方向性が示されているが、二市三町において、今後の必要病床数の不足が推定されており、一層の需要が見込まれること、現状の病床利用率等を勘案し、満床に近い病床利用率を目標とし、政策医療としてより多くの患者を受け入れることとする。

◇療養病棟の目標設定

	現プラン目標	新プラン目標	増減	(参考) H27年6~9月
病床利用率 (%)	100.0	98.0	△ 2.0	91.8
診療単価 (円)	13,800	15,000	1,200	14,754

(2) 外来収益

【患者数・診療単価を設定するにあたっての考え方】

- 地域密着型の総合病院として、現在の開設診療科を継続することとし、患者数を設定する。
- 常勤医師が不在な小児科については、現状における患者数の減少を踏まえ、患者数の目標値も下方修正することとする。
- 診療単価については、安心な地域医療を提供することとし、実績や努力目標を踏まえて設定する。

◇外来患者数と診療単価の目標

	現プラン目標	新プラン目標	増減	(参考) H27年6~9月
1日当たりの患者数 (人)	307.8	275.1	△ 32.7	259.5
うち小児科	44.0	10.0	△ 34.0	6.7
診療単価 (円)	9,150	10,800	1,650	10,241

(3) 入院収益及び外来収益の目標値

入院収益と外来収益の目標値

収益		現プラン 目標	新プラン 目標	増減
1日当たりの患者数 (人)	入院	156.7人	150.0人	△ 6.7人
	外来	307.8人	275.1人	△ 32.7人
	入院+外来	464.5人	425.1人	△ 39.4人
病床利用率(%)	入院	97.3%	93.2%	△ 4.1%
診療単価(円)	入院	27,500円	29,059円	1,559円
	外来	9,150円	10,800円	1,650円
収益(千円)	入院	1,573,000千円	1,591,418千円	18,418千円
	外来	685,000千円	725,068千円	40,068千円
	入院+外来	2,258,000千円	2,316,486千円	58,486千円

※収益については、診療日数が入院 365 日、外来 244 日の場合で試算

(4) 経営の効率化に向けた費用の目標

①人件費に関する目標

- 成績評価による新たな人事評価制度の導入を検討し、職員一人ひとりの資質の向上に努める。
- 業務フローの見直し等を行い、適正な人員配置に努める。
- 現プランにおいて制度化した、勤勉手当の一部の3月支給を継続し、経営状態に応じて支給を決定する。

②材料費に関する目標

- 診療材料の導入品目の再検討や、在庫管理の徹底などにより、診療材料費の削減を目指す。
- 薬品について使用期限の管理を徹底するとともに、後発医薬品への更なる切り替えを推進し、薬品費の削減を目指す。

③経費に関する目標

- 自治体病院、民間病院などにおける導入実績の情報収集に努め、委託費などの経費の削減を目指す。

3. 一般会計の負担の考え方（案）

（1）基本的な考え方

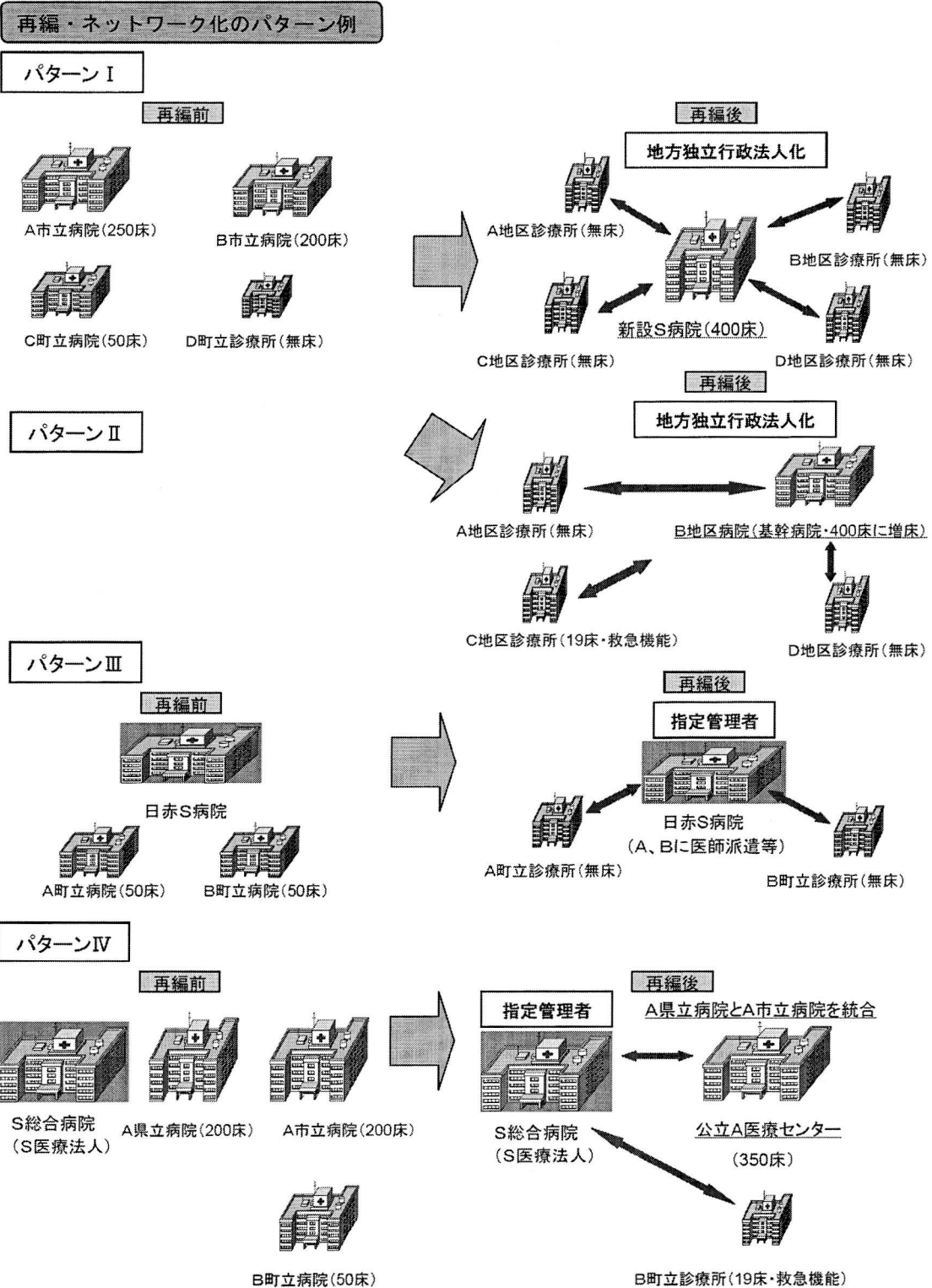
- ①総務省の繰出基準に基づく繰入れを行うこととする。
- ②地域医療構想や地域包括ケアシステムにおいて公立病院として果たすべき役割など、政策的医療に係る経費のうち、その経営に伴う収入をもって不足する額について繰入れを行うこととする。
 - 慢性期医療に係る経費のうち、その経営に伴う収入をもって不足する額
 - 在宅医療に係る経費のうち、その経営に伴う収入をもって不足する額
 - 小児診療に係る経費のうち、その経営に伴う収入をもって不足する額
- ③消費税率の引き上げに伴う損税など、医業収入に転嫁することが出来ない費用について繰入れを行うこととする。

(4) 再編・ネットワーク化

再編・ネットワーク化について

1. 再編・ネットワーク化のイメージ

【現プラン策定時における再編・ネットワーク化のイメージ図】



2. 新たな公立病院改革ガイドラインにおいて十分な検討を行うべきとされている病院

- 施設の新設・建替等を行う予定の公立病院
- 病床利用率が特に低水準である公立病院(過去3年間連続して70%未満)
- 地域医療構想等を踏まえ医療機能の見直しを検討することが必要である公立病院

3. 当院における再編・ネットワーク化への取組

地域医療構想における2025年の必要病床数の推計から、回復期の不足や急性期の削減が見込まれているが、市立病院では、地域包括ケアシステムの構築等を見据えて、平成27年6月より3階の一般病棟42床を、地域包括ケア病棟に転換し、病床機能の見直しを行っている。

今後は、地域における利便性維持のため、一定規模の診療科を維持しつつも、新設または維持が困難な診療科については近隣病院との連携により、その医療機能を確保することとする。

(5) 経営形態の見直し

経営形態の見直し

1. 主な経営形態

(1) 地方公営企業全部適用

法律上当然に適用される「財務規定」のみでなく、任意適用とされる「組織に関する規定」、「職員の身分取り扱いに関する規定」も適用すること。地方公共団体が、住民の福祉の増進を目的として経営するが、事業管理者を設置し、職員の任免・給与等の身分取扱い、予算原案の作成などの権限が地方公共団体から委譲されている。

(2) 地方独立行政法人（非公務員型）

地方独立行政法人法の規定に基づき地方公共団体が設立する法人のこと。公共上の見地から、その地域において確実に実施される必要のある事務・事業のうち、地方公共団体自身が直接実施する必要はないが、民間の主体に委ねては確実な実施が確保できない恐れがあるものを効率的・効果的に実施させることを目的として経営する。理事長を設置し、設置団体が示した中期目標や中期計画に基づき事業を実施する。

(3) 指定管理者

公設民営とも言われ、地方自治体が設置した施設を、民間事業者・団体等を指定して管理運営させる制度。地方公共団体は随時指定管理者に業務又は経営状況について調査報告を求めることができる。政策的医療を提供することが可能な事業者の確保や指定管理者委譲後に経営破たんした場合に、医療提供体制の中断などの懸念がある。

(4) 民間委譲

市所有の土地や施設等を民間事業者へ売却し、民間事業者が病院の運営を行う形態。民間事業者へ病院経営を委譲することで、地方公共団体の財政的な負担は軽減されるものの、政策的医療の提供からは撤退する可能性があり市民サービスの低下の懸念がある。多額の企業債や累積欠損金を抱えている場合や施設が老朽化している場合は民間事業者が見つからない可能性がある。

【現在の市立病院の状況】

- ・平成22年4月より「地方公営企業法全部適用」に移行し、事業管理者を設置。
- ・地方公営企業法全部適用後、3年以内に収支均衡の目途がつかない場合には、「地方独立行政法人（非公務員型）」や「指定管理者制度」へ移行を現改革プランで示したが、23年度に経常収支黒字が達成されたため、現改革プランでは、経営形態の更なる見直しについては見送ることとした。

(参考) 地方公営企業全部適用と地方独立行政法人(非公務員型)との比較

経営形態		地方公営企業全部適用	独立行政法人(非公務員型)
組織構成	法人格	無(地方公共団体の一部)	有
	出資者	無(地方公共団体の一部)	設置した地方公共団体
	代表者	設置団体が事業管理者を任命	設置団体が理事長を任命
	役員・評価委員の設置	無	有
	職員の身分	地方公務員	非公務員
職員の身分等	定数管理	条例で定める	定数規定なし
	労働基本権	団結権・団体交渉権のみ	団結権・団体交渉権・争議権
	職員の給与	給与の種類及び基準は条例で定める	法人の規定で定める
	職員の福利厚生	地方公務員等共済組合法を適用	地方公営企業に準ずる
財務・会計等	財務	独立採算	独立採算
	地方自治法の財務規定	適用有	適用無
	財源措置	地方公共団体より繰入金措置有	設置団体より運営費負担金を交付
	建設改良等への財源	企業債の活用可能	企業債の活用不可 設置団体からの長期借入金のみ可
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ①市の組織の一部であることから、政策医療の安定的・継続的な提供が可能 ②地方公共団体が業務の執行について必要な指示をすることができる ③地方公共団体は予算の調整権を有する ④理事会や評価委員会を設置するコストがかからない 	<ul style="list-style-type: none"> ①市は中期目標や中期計画として事業計画に政策的医療の提供を指示することができる ②財務運営や契約の関係で弾力的な運営が可能 	
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ①職員給与や勤務条件について、条例での定めがある ②財務運営や契約関係で制約がある 	<ul style="list-style-type: none"> ①企業債の活用が不可 ②理事会や評価委員会を設置するコストがかかる ③給与システム等独自システム導入へのコストがかかる ④移行時に職員の身分が非公務員となるため、理解に時間を要する 	

別 冊

「新改革プラン」策定に係る
市民意向調査についての調査報告

平成 27 年 12 月 21 日

塩竈市立病院 経営改革室

目 次

I 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査内容及び調査方法	1
3. 調査の実施時期	1
4. 回収・集計状況	1
II 回答者の属性	
1. 性別	2
2. 年齢	2
3. 職業	2
III 市民意向調査の回答	3

I 調査の概要

1. 調査の目的

塩竈市立病院では平成 28 年度以降、経営指針となる「新改革プラン」の策定を進めています。塩竈市民の当院へのご意見や将来像等に対する意向を広く把握し、今後の「新改革プラン」策定を進めていきたいため、市民意向調査を実施しました。

2. 調査内容及び調査方法

調査対象として、塩竈市に居住する満 18 歳以上 85 歳以下（平成 27 年 11 月 1 日現在）の市民の中から 2,000 人を無作為抽出し、調査方法は、郵送による配布・回収としました。

3. 調査の実施時期

平成 27 年 11 月 19 日から平成 27 年 12 月 4 日まで。

4. 回収・集計状況

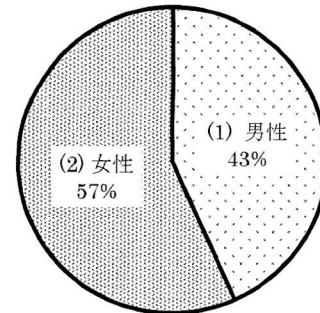
回収票数は 7 1 3 票、回収率は 3 5. 6 %でした。

Ⅱ 回答者の属性について

1. 性別について

		回答数	構成比
(1)	男性	309	43.3%
(2)	女性	404	56.7%
	合計	713	100.0%

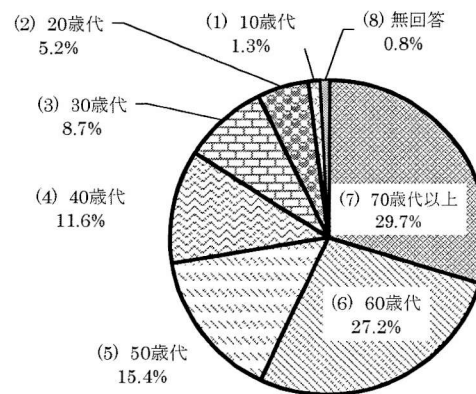
【性別の構成比】



2. 年齢について

		回答数	構成比
(1)	10歳代	9	1.3%
(2)	20歳代	37	5.2%
(3)	30歳代	62	8.7%
(4)	40歳代	83	11.6%
(5)	50歳代	110	15.4%
(6)	60歳代	194	27.2%
(7)	70歳代以上	212	29.7%
(8)	無回答	6	0.8%
	合計	713	100.0%

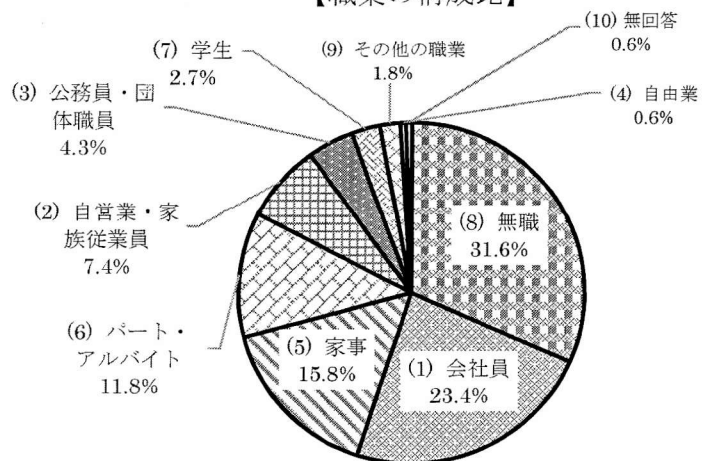
【年齢の構成比】



3. 職業について

		回答数	構成比
(1)	会社員	167	23.4%
(2)	自営業・家族従業員	53	7.4%
(3)	公務員・団体職員	31	4.3%
(4)	自由業	4	0.6%
(5)	家事	113	15.8%
(6)	パート・アルバイト	84	11.8%
(7)	学生	19	2.7%
(8)	無職	225	31.6%
(9)	その他の職業	13	1.8%
(10)	無回答	4	0.6%
	合計	713	100.0%

【職業の構成比】



Ⅲ 市民意向調査の回答

設問 1 あなたは医療機関を定期的を受診されますか？（1つに○をつけてください）

	回答数	構成比
(1) 持病等があり定期的を受診する	372	52.2%
(2) 風邪や怪我など医療が必要になった場合に受診する	312	43.8%
(3) 医療機関を受診しない	21	2.9%
(4) 無回答	8	1.1%
合 計	713	100.0%

医療機関を定期的を受診されるかでは、「(1) 持病等があり定期的を受診する」が 372 票 (52.2%) で最も多く、次いで「(2) 風邪や怪我など医療が必要になった場合に受診する」が 312 票 (43.8%)、となっています。今回の調査回答者の中では約 96%の方が医療機関を定期的を受診しています。

設問 2 設問 1 で 1 もしくは 2 をお選びになった方にお聞きします。

あなたは主にどこの医療機関を受診されますか？（1つに○をつけてください）

	回答数	構成比
(1) 塩竈市立病院	103	14.4%
(2) その他の医療機関	588	82.5%
(3) 無回答	22	3.1%
合 計	713	100.0%

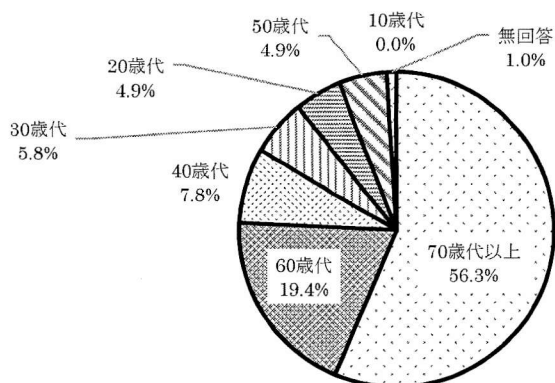
■ 男女別 利用医療機関

選択項目	塩竈市立病院		その他の医療機関		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性	45	14.6%	248	80.3%	16	5.2%
女性	58	14.4%	340	84.2%	6	1.5%

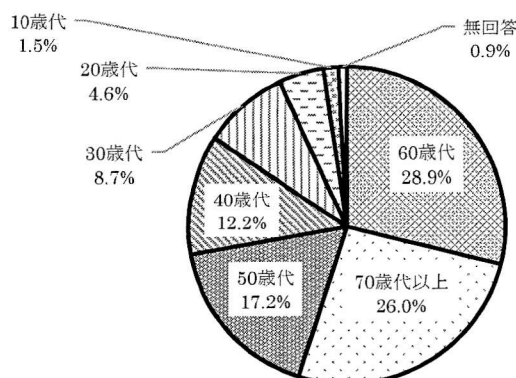
▼ 年齢別 利用医療機関

選択項目	塩竈市立病院		その他の医療機関		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
10歳代	0	0.0%	9	1.5%	0	0.0%
20歳代	5	4.9%	27	4.6%	5	22.7%
30歳代	6	5.8%	51	8.7%	5	22.7%
40歳代	8	7.8%	72	12.2%	3	13.6%
50歳代	5	4.9%	101	17.2%	4	18.2%
60歳代	20	19.4%	170	28.9%	4	18.2%
70歳代以上	58	56.3%	153	26.0%	1	4.5%
無回答	1	1.0%	5	0.9%	0	0.0%
合 計	103	100.0%	588	100.0%	22	100.0%

【市立病院受診者の年齢別割合】



【その他の医療機関受診者の年齢別割合】



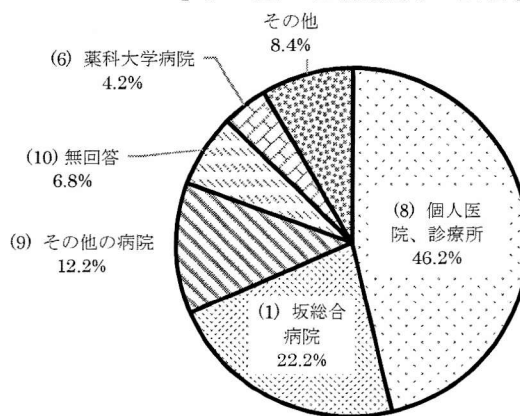
主にどこの医療機関を受診するかでは、市立病院周辺7病院を含む「その他の医療機関」が588票(82.5%)、「塩竈市立病院」が103票(14.4%)となっています。

この比率は男女別でも同様ですが、年齢別で比較すると「塩竈市立病院」を受診すると回答した方の半数以上は「70歳代以上」で最も多く、全体的に比較すると「60歳代以上」の高齢者の割合が高くなっています。

設問2 - 1 設問2で「その他の医療機関」を選ばれた方の中、具体的にどこの医療機関を受診されているか。(複数回答制)

	回答数	構成比
(1) 坂総合病院	153	22.2%
(2) 赤石病院	17	2.5%
(3) 仙塩総合病院	7	1.0%
(4) 仙塩利府病院	12	1.7%
(5) 緑ヶ丘病院	3	0.4%
(6) 薬科大学病院	29	4.2%
(7) 利府掖済会病院	19	2.8%
(8) 個人医院、診療所	319	46.2%
(9) その他の病院	84	12.2%
(10) 無回答	47	6.8%
合計	690	100.0%

【その他の医療機関の割合】



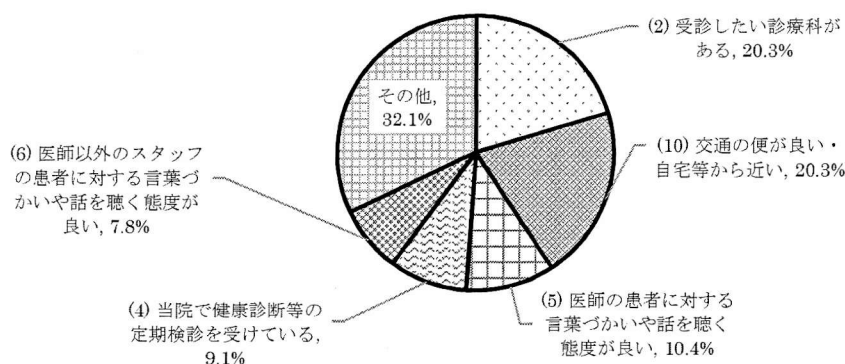
具体的にどこの医療機関を受診されるかでは、「(8) 個人医院、診療所」が319票(46.2%)、と最も多く、次いで「(1) 坂総合病院」が153票(22.2%)となっており、(1)～(7)の市立病院周辺7病院を受診すると回答された方は回答数全体の約35%を占めています。

設問3 設問2で1を選んだ方への質問です。当院を受診される理由はなんですか？
(主な理由に最大3つまで○をつけてください)

当院を受診される理由では、「(2) 受診したい診療科がある」及び「(10) 交通の便が良い・自宅等から近い」が47票(20.3%)と最も多く、次いで「(5) 医師の患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が良い」が24票(10.4%)となっています。

		回答数	構成比
(1)	受診できる曜日や時間が合う	15	6.5%
(2)	受診したい診療科がある	47	20.3%
(3)	医療技術の高い診療を行っている	5	2.2%
(4)	当院で健康診断等の定期検診を受けている	21	9.1%
(5)	医師の患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が良い	24	10.4%
(6)	医師以外のスタッフの患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が良い	18	7.8%
(7)	診察や会計の待ち時間が少ない	9	3.9%
(8)	医療機器が新しい	4	1.7%
(9)	駐車場が広い・駐車しやすい	5	2.2%
(10)	交通の便が良い・自宅等から近い	47	20.3%
(11)	休日・夜間等救急診療に対応している	18	7.8%
(12)	その他	14	6.1%
(13)	無回答	4	1.7%
	合計	231	100.0%

【市立病院を受診される理由】



※ 回答数の多い上位5項目、それ以外をその他として分類しています。

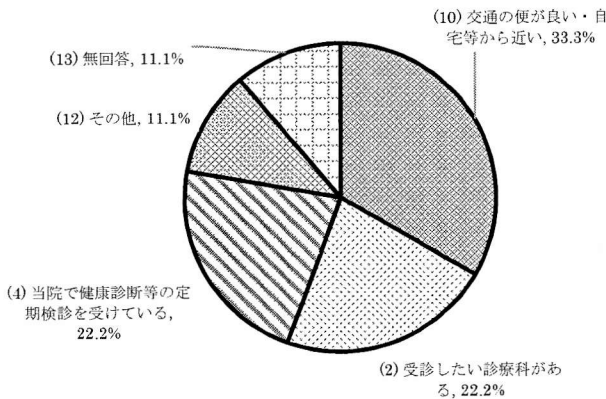
■男女別 市立病院を利用される理由(最大3つまでの複数回答制)

選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 受診できる曜日や時間が合う	5	5%	10	8%
(2) 受診したい診療科がある	24	24%	23	18%
(3) 医療技術の高い診療を行っている	1	1%	4	3%
(4) 当院で健康診断等の定期検診を受けている	11	11%	10	8%
(5) 医師の患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が良い	10	10%	14	11%
(6) 医師以外のスタッフの患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が良い	9	9%	9	7%
(7) 診察や会計の待ち時間が少ない	3	3%	6	5%
(8) 医療機器が新しい	1	1%	3	2%
(9) 駐車場が広い・駐車しやすい	3	3%	2	2%
(10) 交通の便が良い・自宅等から近い	18	18%	29	22%
(11) 休日・夜間等救急診療に対応している	8	8%	10	8%
(12) その他	5	5%	9	7%
(13) 無回答	2	2%	2	2%
合計	100	100%	131	100%

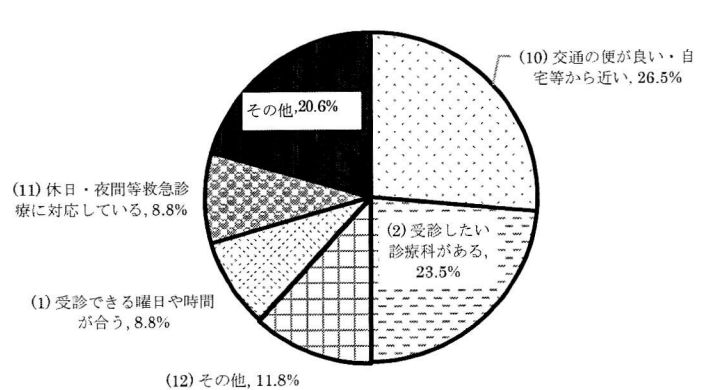
▼年齢別 市立病院を利用される理由（最大3つまでの複数回答制）

選択項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	無回答
(1) 受診できる曜日や時間が合う	0	0	0	2	1	3	9	0
(2) 受診したい診療科がある	0	2	4	1	3	12	25	0
(3) 医療技術の高い診療を行っている	0	0	0	0	0	1	4	0
(4) 当院で健康診断等の定期検診を受けている	0	2	0	0	1	4	13	1
(5) 医師の患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が良い	0	0	1	0	0	2	20	1
(6) 医師以外のスタッフの患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が良い	0	0	0	0	2	1	14	1
(7) 診察や会計の待ち時間が少ない	0	0	0	0	1	0	8	0
(8) 医療機器が新しい	0	0	0	0	0	0	4	0
(9) 駐車場が広い・駐車しやすい	0	0	0	0	0	0	5	0
(10) 交通の便が良い・自宅等から近い	0	3	4	3	2	7	28	0
(11) 休日・夜間等救急診療に対応している	0	0	1	1	1	3	12	0
(12) その他	0	1	2	2	0	7	2	0
(13) 無回答	0	1	0	1	1	0	1	0
合計	0	9	12	10	12	40	145	3

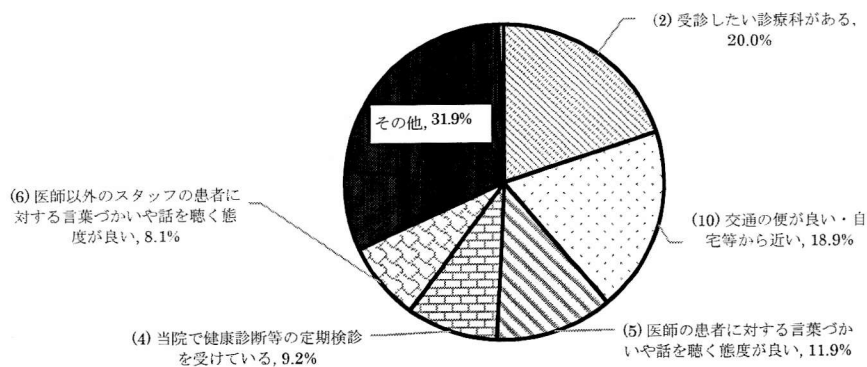
【10歳代から20歳代】



【30歳代から50歳代】



【60歳代以上】



※ 回答数の多い上位5項目、それ以外をその他として分類しています。

※ 10～20歳代は若年世代、30～50歳代は就労世代、60歳以上は高齢世代として分類しています。

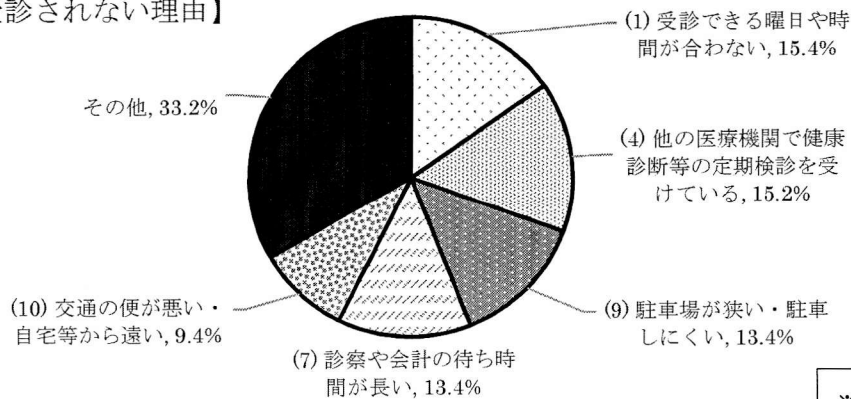
年齢別に比較すると「60歳代以上」は「10歳代～50歳代」よりも「受診したい診療科」を重視する傾向が高く、また、「医師や医師以外のスタッフへの態度」を重視している傾向があります。「交通の便が良い・自宅等から近い」はどの年齢をみても構成比が高くなっています。

設問4 設問2で2を選んだ方への質問です。当院を受診されない理由はなんですか？
(主な理由に最大3つまで○をつけてください)

当院を受診しない理由では「(1) 受診できる曜日や時間が合わない」176票(15.4%)と最も多く、「(4) 他の医療機関で健康診断等の定期検診を受けている」が174票(15.2%)と次いで多くなっています。

	回答数	構成比
(1) 受診できる曜日や時間が合わない	176	15.4%
(2) 受診したい診療科がない	94	8.2%
(3) 医療技術の高い診療を行っていない	41	3.6%
(4) 他の医療機関で健康診断等の定期検診を受けている	174	15.2%
(5) 医師の患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が不満	29	2.5%
(6) 医師以外のスタッフの患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が不満	24	2.1%
(7) 診察や会計の待ち時間が長い	153	13.4%
(8) 医療機器が古い	21	1.8%
(9) 駐車場が狭い・駐車しにくい	154	13.4%
(10) 交通の便が悪い・自宅等から遠い	108	9.4%
(11) 施設や設備が古い	50	4.4%
(12) その他	104	9.1%
(13) 無回答	18	1.6%
合計	1,146	100.0%

【市立病院を受診されない理由】



※ 回答数の多い上位5項目、それ以外をその他として分類しています。

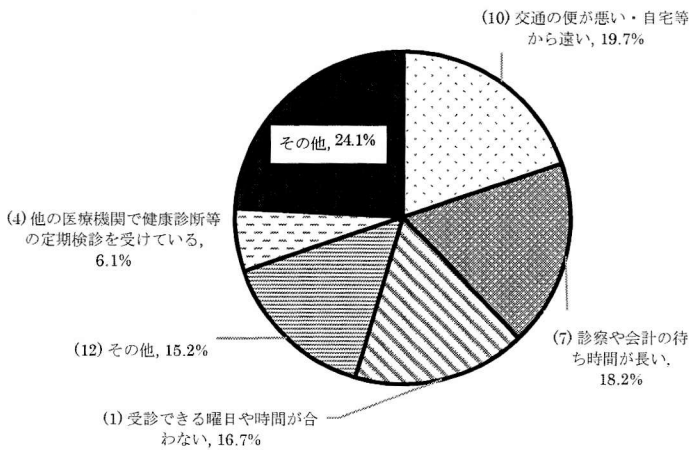
■男女別 市立病院を利用されない理由（最大3つまでの複数回答制）

	選択項目	男性		女性	
		人数	構成比	人数	構成比
(1)	受診できる曜日や時間が合わない	72	16%	104	15%
(2)	受診したい診療科がない	39	8%	55	8%
(3)	医療技術の高い診療を行っていない	20	4%	21	3%
(4)	他の医療機関で健康診断等の定期検診を受けている	74	16%	100	15%
(5)	医師の患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が不満	10	2%	19	3%
(6)	医師以外のスタッフの患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が不満	5	1%	19	3%
(7)	診察や会計の待ち時間が長い	55	12%	98	14%
(8)	医療機器が古い	11	2%	10	1%
(9)	駐車場が狭い・駐車しにくい	62	13%	92	13%
(10)	交通の便が悪い・自宅等から遠い	41	9%	67	10%
(11)	施設や設備が古い	20	4%	30	4%
(12)	その他	46	10%	58	8%
(13)	無回答	5	1%	13	2%
	合計	460	100%	686	100%

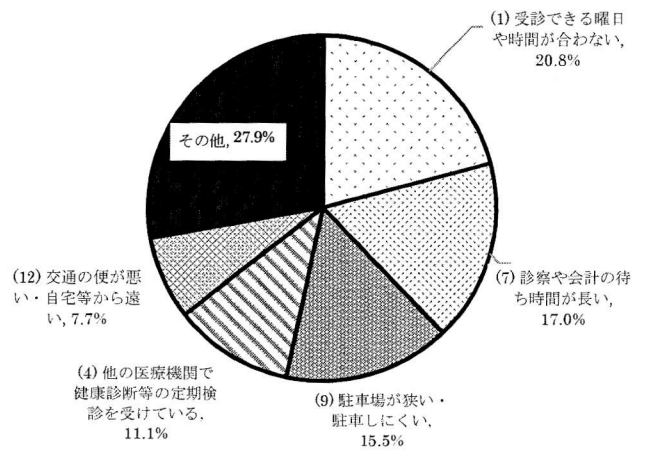
▼年齢別 市立病院を利用されない理由（最大3つまでの複数回答制）

	選択項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	無回答
(1)	受診できる曜日や時間が合わない	3	8	19	35	40	46	23	2
(2)	受診したい診療科がない	0	3	8	10	16	30	27	0
(3)	医療技術の高い診療を行っていない	0	1	4	2	7	12	15	0
(4)	他の医療機関で健康診断等の定期検診を受けている	1	3	7	12	31	56	61	3
(5)	医師の患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が不満	1	1	4	3	2	13	5	0
(6)	医師以外のスタッフの患者に対する言葉づかいや話を聴く態度が不満	0	3	1	2	3	7	8	0
(7)	診察や会計の待ち時間が長い	3	9	24	27	26	36	27	1
(8)	医療機器が古い	0	0	1	1	5	6	7	1
(9)	駐車場が狭い・駐車しにくい	1	2	18	23	29	48	32	1
(10)	交通の便が悪い・自宅等から遠い	4	9	8	10	17	27	33	0
(11)	施設や設備が古い	0	4	7	5	8	12	13	1
(12)	その他	2	8	6	11	17	35	24	1
(13)	無回答	0	0	1	1	1	7	8	0
	合計	15	51	108	142	202	335	283	10

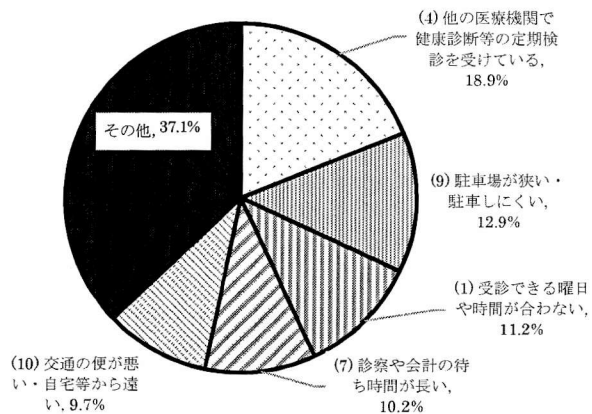
【10歳代から20歳代】



【30歳代から50歳代】



【60歳代以上】



※ 回答数の多い上位5項目、それ以外をその他として分類しています。

※ 10～20歳代は若年世代、30～50歳代は就労世代、60歳以上は高齢世代として分類しています。

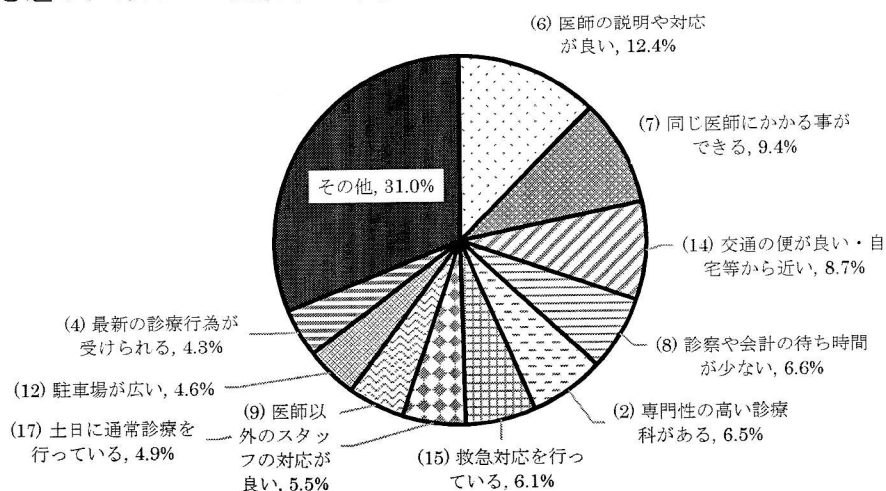
年齢別では、「(4) 他の医療機関で健康診断等の定期検診を受けている」と回答した方の構成比をみると年齢が上がるにつれて増加しています。また、「40歳代から50歳代」では「受診できる曜日や時間が合わない」との割合が他の年代と比べやや高くなっています。これは当院小児科の常勤医不在の影響も関係しているのではないかと推測します。

設問5 あなたが、医療機関を選ぶにあたって重視する事はなんですか？
(最大5つまで○をつけてください)

医療機関を選ぶにあたって重視することでは、「(6) 医師の説明や対応が良い」が 358 票 (12.4%)、次いで「(7) 同じ医師にかかる事ができる」が 271 票 (9.4%)、「(14) 交通の便が良い・自宅等から近い」が 251 票 (8.7%) となっています。

	選択項目	回答数	構成比
(1)	開設している診療科が多い	122	4.2%
(2)	専門性の高い診療科がある	188	6.5%
(3)	有名な医師や専門医がいる	95	3.3%
(4)	最新の診療行為が受けられる	125	4.3%
(5)	医師の人数が多い	32	1.1%
(6)	医師の説明や対応が良い	358	12.4%
(7)	同じ医師にかかる事ができる	271	9.4%
(8)	診察や会計の待ち時間が少ない	192	6.6%
(9)	医師以外のスタッフの対応が良い	160	5.5%
(10)	相談窓口が充実している	35	1.2%
(11)	施設や設備が新しい	85	2.9%
(12)	駐車場が広い	132	4.6%
(13)	最新の医療機器がある	113	3.9%
(14)	交通の便が良い・自宅等から近い	251	8.7%
(15)	救急対応を行っている	177	6.1%
(16)	夜間に通常診療を行っている	62	2.1%
(17)	土日に通常診療を行っている	143	4.9%
(18)	周囲からの評判が良い	119	4.1%
(19)	大学病院等の大きな病院への紹介がスムーズである	115	4.0%
(20)	地域の開業医や介護施設、福祉施設との連携が図られている	51	1.8%
(21)	訪問診療や訪問看護、訪問リハビリなど在宅医療を受けられる	45	1.6%
(22)	その他	10	0.3%
(23)	無回答	16	0.6%
	合計	2,897	100.0%

【医療機関を選ぶにあたって重視する事】



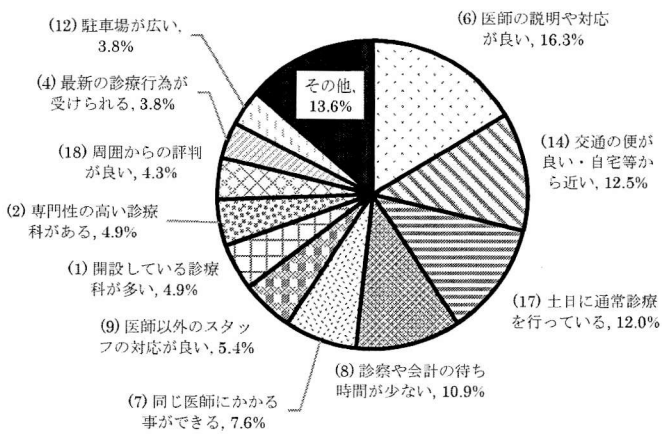
※ 回答数の多い上位10項目、それ以外をその他として分類しています。

■男女別 医療機関を選ぶにあたって重視する事（最大5つまでの複数回答制）

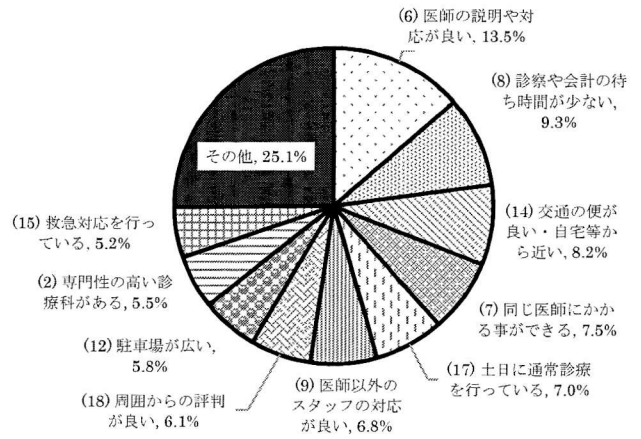
	選択項目	男性		女性	
		人数	構成比	人数	構成比
(1)	開設している診療科が多い	58	4.6%	64	3.9%
(2)	専門性の高い診療科がある	93	7.4%	95	5.8%
(3)	有名な医師や専門医がいる	41	3.3%	54	3.3%
(4)	最新の診療行為が受けられる	62	4.9%	63	3.8%
(5)	医師の人数が多い	16	1.3%	16	1.0%
(6)	医師の説明や対応が良い	135	10.7%	223	13.6%
(7)	同じ医師にかかる事ができる	118	9.4%	153	9.3%
(8)	診察や会計の待ち時間が少ない	85	6.7%	107	6.5%
(9)	医師以外のスタッフの対応が良い	63	5.0%	97	5.9%
(10)	相談窓口が充実している	18	1.4%	17	1.0%
(11)	施設や設備が新しい	41	3.3%	44	2.7%
(12)	駐車場が広い	58	4.6%	74	4.5%
(13)	最新の医療機器がある	48	3.8%	65	4.0%
(14)	交通の便が良い・自宅等から近い	101	8.0%	150	9.2%
(15)	救急対応を行っている	70	5.6%	107	6.5%
(16)	夜間に通常診療を行っている	28	2.2%	34	2.1%
(17)	土日に通常診療を行っている	68	5.4%	75	4.6%
(18)	周囲からの評判が良い	48	3.8%	71	4.3%
(19)	大学病院等の大きな病院への紹介がスムーズである	54	4.3%	61	3.7%
(20)	地域の開業医や介護施設、福祉施設との連携が図られている	25	2.0%	26	1.6%
(21)	訪問診療や訪問看護、訪問リハビリなど在宅医療を受けられる	18	1.4%	27	1.6%
(22)	その他	5	0.4%	5	0.3%
(23)	無回答	7	0.6%	9	0.5%
	合計	1,260	100.0%	1,637	100.0%

▼年齢別 医療機関を選ぶにあたって重視する事（最大5つまでの複数回答制）

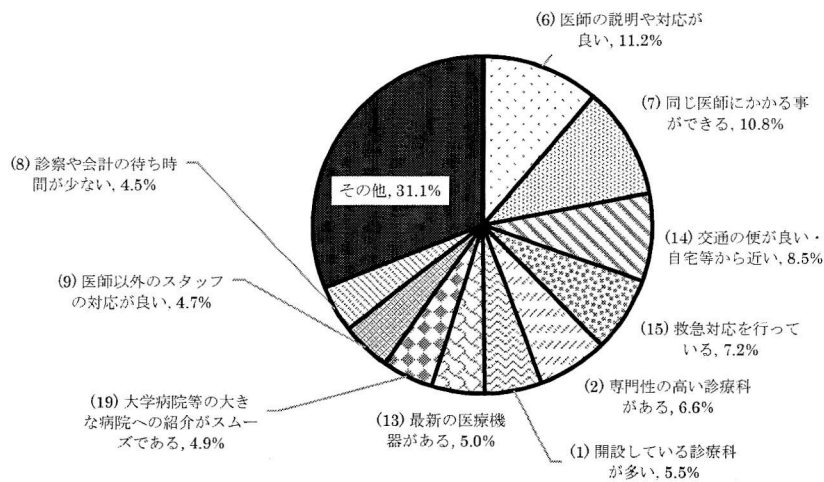
【10歳代から20歳代】



【30歳代から50歳代】



【60歳代以上】



※ 回答数の多い上位10項目、それ以外をその他として分類しています。

※ 10～20歳代は若年世代、30～50歳代は就労世代、60歳以上は高齢世代として分類しています。

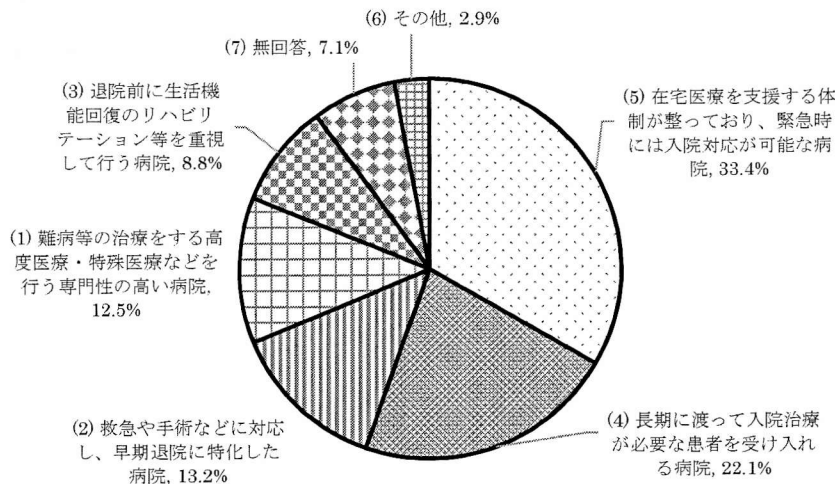
年齢別で比較すると「(6) 医師の説明や対応が良い」を重視する割合は全年齢を通じて高くなっています。また、「10歳代から50歳代」では平日の日中に仕事をしていて、なかなか時間が取れない都合からか、「(17) 土日に普通診療を行っている」の割合が「60歳以上」の構成比に比べて高くなっています。そして、「(7) 同じ医師にかかる事ができる」を重視する割合については年代が上がるにつれて構成比の割合が増加傾向になっています。

設問 6 少子高齢化する今後の社会を踏まえて、当院の果たすべき役割について期待することはありますか？（1つに○をつけてください）

当院の果たす役割について期待することについては、「(5) 在宅医療を支援する体制が整っており緊急時には入院対応が可能な病院」が 225 票 (33.4%) と最も多く、次いで「(4) 長期に渡って入院治療が必要な患者を受け入れる病院」が 149 票 (22.1%) となっています。

		回答数	構成比
(1)	難病等の治療をする高度医療・特殊医療などを行う専門性の高い病院	84	12.5%
(2)	救急や手術などに対応し、早期退院に特化した病院	89	13.2%
(3)	退院前に生活機能回復のリハビリテーション等を重視して行う病院	59	8.8%
(4)	長期に渡って入院治療が必要な患者を受け入れる病院	149	22.1%
(5)	在宅医療を支援する体制が整っており、緊急時には入院対応が可能な病院	225	33.4%
(6)	その他	20	3.0%
(7)	無回答	48	7.1%
	合計	674	100.0%

【市立病院に期待する事】

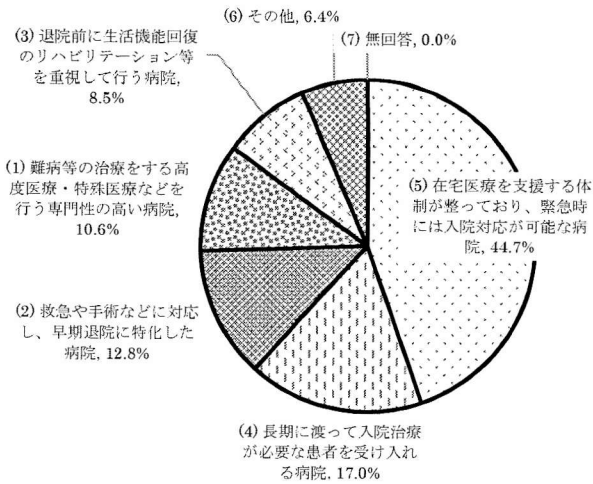


■男女別 少子高齢化する今後当院の果たすべき役割について期待すること（最大1つまで回答）

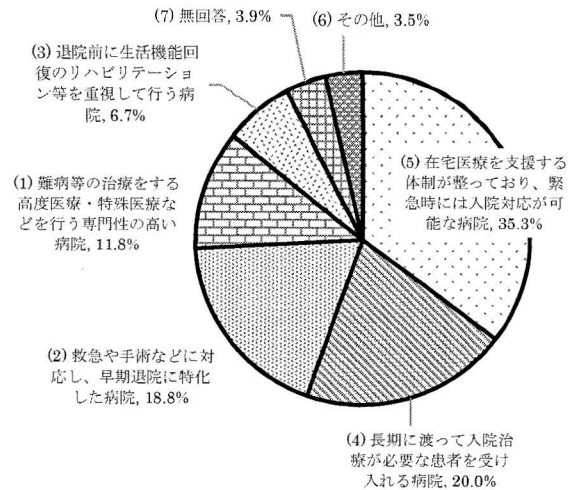
選択項目	男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 難病等の治療をする高度医療・特殊医療などを行う専門性の高い病院	36	11.7%	48	13.1%
(2) 救急や手術などに対応し、早期退院に特化した病院	52	16.9%	37	10.1%
(3) 退院前に生活機能回復のリハビリテーション等を重視して行う病院	22	7.1%	37	10.1%
(4) 長期に渡って入院治療が必要な患者を受け入れる病院	63	20.5%	86	23.5%
(5) 在宅医療を支援する体制が整っており、緊急時には入院対応が可能な病院	107	34.7%	118	32.2%
(6) その他	8	2.6%	12	3.3%
(7) 無回答	20	6.5%	28	7.7%
合計	308	100.0%	366	100.0%

▼年齢別 今後当院の果たすべき役割について期待すること（最大1つまで回答）

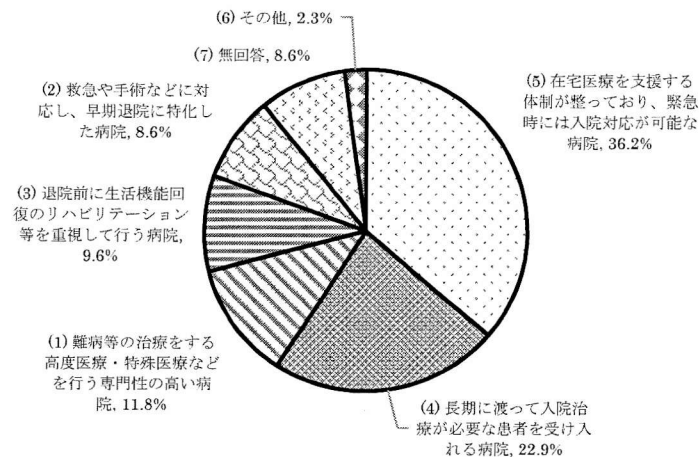
【10歳代から20歳代】



【30歳代から50歳代】



【60歳代以上】



※ 10～20歳代は若年世代、30～50歳代は就労世代、60歳以上は高齢世代として分類しています。

年齢別では、どの年代も「(5) 在宅医療を支援する体制が整っており緊急時には入院対応が可能な病院」が全体の3割以上を占めています。また、「(4) 長기에渡って入院治療が必要な患者を受け入れる病院」を期待する割合は全年代を通じて高くなっています。

さらに「10歳代から20歳代」、「30歳代から50歳代」は「60歳代以上」に比べて、「(2) 救急や手術などに対応し、早期退院に特化した病院」を期待する構成比がやや高くなっています。